

# 葉の花



第 18 号

【発行日】 令和元年 5 月 18 日

【発行所】 一般社団法人千葉県訪問看護ステーション協会

【発行責任者】 権平くみ子

## INDEX

- 会長より -----1
- 協会活動報告 -----2~4
- 地区部会だより -----5~11  
千葉市地区、東葛北部地区、東葛南部地区、香取・海匝地区、  
印旛・山武地区、夷隅・長生・市原地区、安房・君津地区
- 編集後記 -----11

表紙の写真…成田市さくらの山(撮影 訪問看護ステーションゆうこう 泉山明美)

## 会長より・・・・・・・・・・千葉県訪問看護ステーション協会 権平くみ子

青葉の風が心地よい季節になりました。皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお喜びいたします。

令和に代わり、5月1日が元日のようにもはやされて、日本中がお祝いムードの明るい日で、皆口々に平和を願っていました。「令和」の年号が身近に感じるようになりました。

さて、当協会が一般社団法人 千葉県訪問看護ステーション協会に移行して2年が過ぎました。会員も233ステーション(平成31年4月現在)となりました。これもひとえに会員皆様のご理解ご協力のたまものと思っております。感謝申し上げます。

今の日本は、世界でも類のない高齢社会で、それに伴う社会環境の変化として、地域差を伴う高齢化の進展やマクロの急速な少子高齢化、伸び続ける社会保障費など、また人々のケアニーズの変化も多様化しています。それをふまえ医療機能の分化・強化・連携の推進を基本方針として、地域包括ケアシステムの構築の充実が取り組まれ、質の高い在宅医療・訪問看護の確保に重点が置かれています。訪問看護師の役割と必要性を改めて感じさせられます。

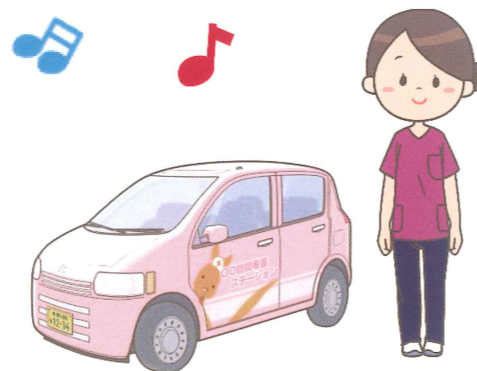


皆さんも日々の訪問で「後期高齢者が多い。高齢者世帯は当たり前。高齢者の単独世帯は珍しくない。住み慣れた家で最期までいたい。家での看取りも多い。」など高齢社会を身近に感じていると思います。私たちは住み慣れた地域で安心して最期まで療養生活を送れるよう、多様な職種と連携しケアを行っています。訪問看護師は、身体面・生活面・制度面などいろんな面に精通しています。いわば在宅療養チームの中で縁の下の要となっていると思います。やりがいのある仕事だと思いませんか？大変かもしれませんが仲間がいます。一人ではありません。

問題点を一緒に考えより良い方向にと、役員とも力を尽くしたいと思います。

訪問看護は、人と関わることで、自分自身も成長させてくれます。素晴らしい職だと思えます。令和の言葉に含まれた「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」は訪問看護にも共通するとおもいます。

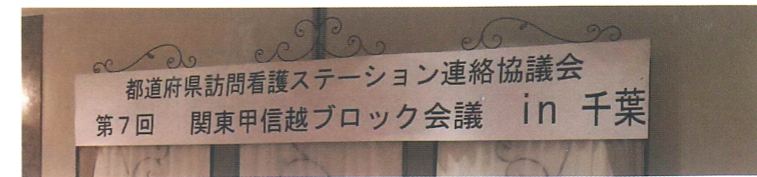
最後に、当協会の会員が増え、会のさらなる進化を目指していこうと思っています。どうぞよろしく願い致します。



## 平成30年度 協会活動報告

### 1. 都道府県訪問看護ステーション連絡協議会 第7回 関東甲信越ブロック会議

in 千葉・・・・・・・・・・・・・連携・推進部会担当副会長 木所律子



平成30年9月1日(土)、一都九県で構成された関東甲信越ブロック会議が千葉県のホテルオークラ東京ベイで開催されました。

もちろんホストは我々千葉県訪問看護ステーション協会。ゲストをお迎えするにあたり事前準備をはじめ当日の会場準備や会議の運営、懇親会の準備から進行まで、会長はじめ理事全員が一丸となって進めていくことができたと思います。

当日は、各県の現状を報告、それぞれの事情は違うものの他県の取り組みがとても参考になるとの意見が多かったようです。

また、労働災害について討議がなされました。県レベルで取り組んでいるところはありませんが、色々な事例から多様化したハラスメントの実情を知ることができました。我々は、自分の身も守るためにも裏付けのある行動、そして毅然とした態度で対応していかなければならないと強く感じました。

最後に広域災害については、関東甲信越ブロックで災害対策としてできることはないか、今後の課題として各県で検討することになりました。

夜は、懇親会で呑みコミュニケーション。余興で賑わい、また美味しいお酒で語らい楽しいひと時を過ごすことができました。

理事の皆さん、お疲れ様でした。感謝！感謝！です。

余談：「四方の国」という歌、ご存知ですか？



### 2. 教育部会・・・・・・・・・・・・・教育部会担当副会長 山藤響子

千葉県ステーション協会教育部会では会員のみなさまに少しでもお役に立てるよう、毎年いくつかの研修会を企画しております。訪問看護業界にホットな話題提供ができるよう、講師やテーマなども検討させていただいております。

平成30年度は3つの研修と事例報告会を行いました。

#### ■口から食べる楽しみを～在宅で、訪問看護師が実践できること

平成30年4月21日(土) 千葉県看護協会 2階大会議室  
JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院摂食機能療法室  
NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長 小山 珠美 先生



在宅医療に関わっていると、「摂食嚥下」、「胃瘻造設の是非」などの問題に直面することがあります。NPO 法人口から食べる幸せを守る会の理事長で看護師でもある小山珠美先生を講師としてお招きし、口から食べることの大切さ、クオリティーの高い食実践など演習を含めた講演をいただきました。特に演習では実際に口から食べるという演習を通して、点滴や胃瘻だけの栄養の是非についても考える大変貴重な経験となりました。

### ■平成 30 年診療報酬・介護報酬同時改定のポイント

平成 30 年 5 月 26 日（土）看護協会別館（ちば訪問看護ステーション 2 階）  
緑が丘訪問看護ステーション 管理者 山崎 潤子 先生

平成 30 年度は 6 年に 1 度の医療・介護同時改定の年となりました。緑が丘訪問看護ステーションの管理者で当協会の副会長でもある山崎潤子先生を講師としてお招きし、それぞれの保険の改定ポイントをわかりやすく順序立てて講演していただきました。出席者からの質問も多く、フロア全体でディスカッションが行われた場面もあり反響の大きさがうかがえました。

### ■意思決定支援～相手の思いを引き出すコミュニケーションスキル～

平成 30 年 11 月 17 日（土）千葉市生涯学習センター小ホール  
千葉県がんセンター 医師 坂下美彦 先生

平成 30 年 3 月に「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂が行われました。ガイドラインには人生の最終段階における医療の在り方に関し、①医師等の医療従事者から適切な情報提供と説明がなされ、それに基づいて患者が医療従事者と話し合いを行った上で、患者本人による決定を基本とすること ②人生の最終段階における医療及びケアの方針を決定する際には、医師の独断ではなく、医療・ケアチームによって慎重に判断することなどが盛り込まれております。

千葉県がんセンターで医師として活躍されている坂下美彦先生をお招きし、コミュニケーションスキルを中心にご講演いただきました。ロールプレイなどを取り入れながら参加者参加型の有意義な研修でした。

### ■平成 30 年度事例報告会【テーマ：意思決定支援】

平成 31 年 3 月 16 日（土）看護協会別館（ちば訪問看護ステーション 2 階）

「事例報告会」は当協会が毎年行っている研修で、年度ごとにテーマを決めて各地区部会からそれぞれ 1 ステーションに発表して頂いております。11 月に行われた坂下美彦先生の演題に引き続き、事例報告会のテーマも「意思決定支援」としました。

7 つの事例報告それぞれに訪問看護師としての思い、意思決定の困難さ、終末期医療に携わることのプロとしての覚悟などを感じる事が出来、質疑応答も活発に行われました。

31 年 2 月 9 日に事例報告会と合わせて研修会も予定されておりましたが悪天候のため延期となつてしまい、事例報告会のみ 3 月 16 日に行いました。

当初予定されておりました船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと統括者で訪問看護認定看護師の佐々木ゆかり先生のご講演については令和元年度の研修に予定しておりますので楽しみにしてください。

#### 発表者の皆様（発表順、敬称略）

東葛北部地区	さわやか訪問看護ステーション	村元 信子
東葛南部地区	向日葵ナースステーション	安藤 仁子
安房・君津地区	亀田訪問看護センター	久保田 智美
印旛・山武地区	厚生園訪問看護ステーション	林 桂子
夷隅・長生・市原地区	ラミーナ訪問看護ステーション	松本 希
香取・海匝地区	リハビリ看護ステーション NEXT	かとり 高橋 亜希子
千葉市地区	ちば訪問看護ステーション	岡山 裕子

貴重な報告有難うございました。

令和元年度の初回研修は令和元年 5 月 18 日（土）、日本精神科看護協会の業務執行理事で看護師の仲野栄先生にご講演いただく予定です。精神科訪問看護の経験のない方にも参考になる講演内容です。訪問の現場には利用者だけではなく精神疾患のあるご家族もいらっしゃいますので、対応のポイントや事例などを通してみなさんと考えていく機会になればと考えております。

当協会としましては、引き続き令和の時代にも訪問看護に携わる皆様のお役に立てるよう、質の高い研修を企画運営していきたいと考えております。研修は管理者だけの参加資格ではありませんので、是非とも多くの訪問看護師の皆様のご参加をお待ちしております。

研修ごとにアンケートも実施しておりますので、みなさまのご意見もお待ちしております。

#### 広報部会からのお知らせ

千葉県訪問看護ステーション協会では web サイト（ <http://www.chiba-houkan.gr.jp/> ）を公開しています。サイトの「ステーション一覧」から訪問看護ステーションの検索ができるようになっています。あなたのステーションの情報が古くなってはいませんか？内容の更新をご希望される方は、下記までご連絡ください。ご協力よろしくお願いたします。

広報ホームページ担当 緑が丘訪問看護ステーション 山崎まで  
メール：[midori\\_n@rmail.plala.or.jp](mailto:midori_n@rmail.plala.or.jp) または ファックス：043-298-9696

## 地区部会だより

千葉県訪問看護ステーション協会は、県内を7地区に分けてそれぞれの地域で活動をしています。各地区からの活動紹介です。



### 1. 千葉市地区・・・・・・・・・・なごみの陽訪問看護ステーション 岡田智恵

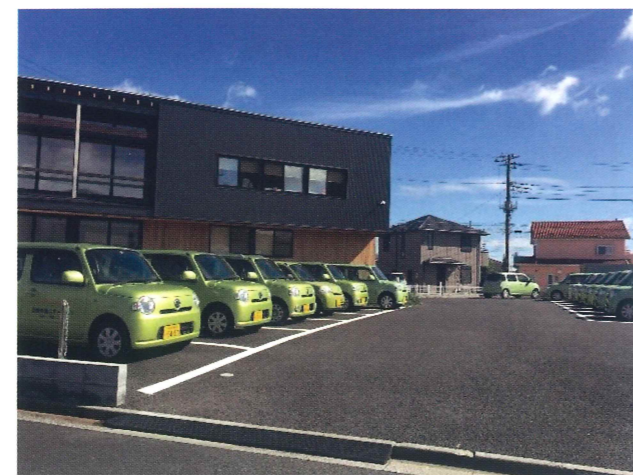
#### 地区部会活動

千葉県訪問看護ステーション協会千葉市地区部会の会員数は、2019年3月末時点で、52ステーションとなりました。大所帯です。年3回の所長会では、約半数のステーションが集まります。所長会を通して情報交換や、困りごとなどの共有、相談などができており、普段の業務にとっても役立っています。研修会を年に2回企画し、うち1回は交流会を兼ねて多職種連携に取り組んでいます。2018年度は、「ノーリフト」と「災害」をテーマに実施し、実践に活かせるものでした。訪問看護のニーズが高まり、困難なケースも増えるなか、同じ看護職同士で支えあって看護ができる仲間です。

#### なごみの陽訪問看護ステーションの紹介

千葉市緑区おゆみ野に事業所があります。おゆみ野地区には、1周6.4kmの遊歩道(四季の道)があります。遊歩道沿いには四季折々の木や花が植えられており、春夏秋冬の公園が整備されています。地域住民の癒やしの場、運動の場、生活の場となっています。当ステーションは2009年に開設し訪問看護ステーションとして、24時間対応体制にて活動してきていますが、開設当初より「地域にいる看護師、リハビリ専門職」としても活動してきています。現在は、おゆみ野地区住民団体の「地域運営委員会」にも参加させていただき、専門職として住民との連携を図っています。また、運動のきっかけづくりのための体操「緑わくわく体操」を制作し住民と体操をおこなったり、訪問前の朝の時間を利用して住民とノルディックウォークをおこなったりしています。住民が気軽に相談でき、予防啓発を実践することは、看護の重要な役割だと考えて活動しています。

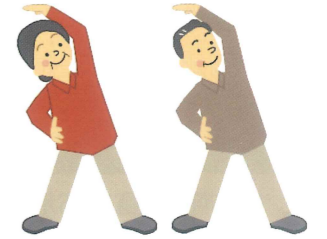
これからも、Home Nursing, Therapist としての



質の向上を目指しながら、地域の愛される専門職として活動を展開して行きます。



\*「緑わくわく体操」は緑区の地域活性化支援事業として制作しました。YouTubeでも見られるので、是非、みなさん体操してみてください。



### 2. 東葛北部地区・・・・・・・・・・訪問看護 Clover 長谷川綾子

#### 2019年2月1日 新規オープンしました!

訪問看護 Clover は、訪問看護に長く携わった看護師と理学療法士で立ちあげた手作りの訪問看護ステーションです。たくさんの利用者さんとの出会いの中で感じてきた訪問看護の魅力を多くの看護師に伝えたい、看護師だからできる事がたくさんある事を皆に伝えていきたいと熱い思いを持ち、私たちしかできない訪問看護を実践するために2019年、平成から令和に変わるこの年に独立開設しました。2019年2月1日にオープンしたばかりの訪問看護ステーションです。ステーションは、若いですが、スタッフひとりひとりが創造力、向上心を持ち、共に助け合い……ベテラン揃いのおばさん揃いです。

訪問看護 Clover の由来は、四つ葉のクローバーの花言葉から考えました。「希望・誠実・愛情・幸運」を意味し、病気があっても幸せであって欲しい、どんな状況でも希望を持ってその人らしく生きて欲しい、誕生から人生を全うするまで私たちが寄り添い誠実に看護を実践したいという気持ちから命名しました。なぜ、英字だったのでしょうか?……カタカナよりも丸みがあり優しいイメージが私たちらしさを感じたからです(笑)。ちょっとしたインスピレーションです。



訪問看護 Clover は、松戸市の北部に位置し事務所のある横須賀は、流山市との市境になります。春は、桜と江戸川の土手一面に広がる菜の花に魅了されます。一面の菜の花は、流山市ですけど(笑)。今年は、愛犬と春を感じに行ってきました。

#### 松戸市の在宅医療

松戸市は、在宅医療が充実しています。松戸市医師会を中心に松戸市訪問看護連絡協議会・他の関係機関



と在宅ケア委員会が設置され連携が取りやすくなっています。昨年度から「医療・介護連携地域 ICT システム」がスタートしています。よりリアルタイムに医師やケアマネジャー・関係機関との情報共有が可能になり、地域の医療・介護が一体化する試みと感じ心強いです。今年度は、いよいよ運用が開始される予定です。これまで以上に医師と繋がりを持って訪問看護を実践し看護師の力を発揮できると楽しみにしています。

そして今期、東葛北部地区の会長を任命されました。どうぞ皆さんの力をお借りして頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。微力ながら訪問看護ステーションの活動を盛り上げていけたらと頭を巡らせています。これからは、次世代の訪問看護師を育てていく事が私たちの役割と思っています。若い看護師が在宅にきてくれる事を切に願っています

### 3. 東葛南部地区・・・総合リハビリ訪問看護ステーション 高澤康子

#### 東葛南部地区 浦安市のご紹介

浦安市は東京湾奥部、千葉県北西部の葛南地域に位置する、人口約 17 万人の市です。昭和 39 年から埋め立て事業を始め、現在は当初の 4 倍である 17.30 km<sup>2</sup>の面積となっております。人口密度は全国平均 340.80 人/km<sup>2</sup>に対して浦安市は 9794.80 人/km<sup>2</sup>と高いため、訪問看護は電動自転車で行くことが多くその点においては大変恵まれております。

現在、浦安市内には、なごみ訪問看護ステーション、聖隷訪問看護ステーション浦安、総合リハビリ訪問看護ステーション、訪問看護ステーションあゆみ、の 4 つのステーションがあります（千葉県訪問看護ステーション協会に加入ステーション）。24 時間対応体制を整えており、高齢者の方をはじめ、0 歳からの小児、医療依存度の高い方、精神疾患、ターミナル期と幅広く対応しています。

#### 浦安市の医療連携

市内には順天堂大学付属浦安病院はじめ、東京ベイ浦安市川医療センターや浦安中央病院、今年 4 月に開設された回復期リハビリテーション、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟で構成される城東桐和会タムス病院などがあり、それらの病院の地域連携室および在宅診療を行う医師の皆さんと良好な連携ができています。

順天堂大学付属浦安病院の入退院療養支援室が行う看看連携連絡会や、在宅医や緩和ケア医、緩和ケア認定看護師が中心になって行う浦安緩和ケア連携カンファレンスが各々年 3 回ずつ行われ、訪問看護師やセラピスト、ケアマネジャー、薬剤師や施設スタッフ、時には市の保健師等も参加し顔の見える関係をつくり勉強会や研修会、意見交換などが行われています。

その他に、浦安市から委託を受け、医療的ケアが必要な児童や生徒の学校へ行き、必要なケアや管理を行う巡回型訪問看護事業や介護予防・日常生活支援総合事業でリハビリテーション等を行っています。

私たちはこれからも住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、ご利用者さんとそのご家族を支えていきたいと思っています。

### 4. 香取・海匝地区・・・訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター 河口成富

#### 香取海匝地区部会の活動

千葉県の北東部に位置する香取海匝地区部会は全 17 ステーションが入会活動しています。平成 30 年度の活動内容は以下になります。

##### ■ 所長会

年に 3 回の行われる所長会を通して訪問看護ステーションの管理者の情報共有・連携を持ち、ステーションの運営や訪問看護の質の向上を目指しています。

##### ■ 研修会

年に 2 回行っています。第 1 回は平成 30 年 10 月 13 日（土）に「在宅で活用できるアロマトリートメント」のテーマで 日本アロマセラピー学会の認定看護師を講師に迎え「アロマセラピーの基礎」講演と「ハンドアロマトリートメント実技」を行いました。参加者がお互いにアロマオイルを使ったハンドトリートメントを実践することで、訪問看護で活用する際のヒントや注意点を学び、参加者の心身のリフレッシュにもつながりました。

第 2 回は平成 31 年 2 月 23 日（土）に「糖尿病のフットケア」をテーマに日本看護協会糖尿病認定看護師を講師に迎え、糖尿病のフットケアの重要性・清潔・保湿・観察とニッパの爪切りと爪やすりを使用した爪切りの演習・実技を行いました。講義や演習を通して、糖尿病のフットケアについて予防的なかかわり、基本的な手技を学ぶことができ、またニッパやヤスリを使った肥厚爪の切り方についても学ぶことができました。

#### 千葉県看護協会の看護の日イベント

平成 30 年 5 月 12 日（土）イオンモール銚子 1 階 いるかの広場にて、訪問看護の PR を目的に参加しました。内容は、各訪問看護ステーションのポスター展示・香取海匝地区ステーションパンフレット・各ステーションパンフレットなどの配布と介護相談・就業相談（訪問看護ステーション）・製薬会社の協力により脱水に対する情報提供と経口補水液の試飲などを行いました。来場者の声で「近所の人に紹介したい」「訪問看護を知っています」「親類で訪問看護を利用している人がいます。」など声かけがあり、訪問看護に対しての世間の認知度が上がってきているように感じました。

#### 新規加入ステーションの紹介

##### ■ 訪問看護ステーションハート

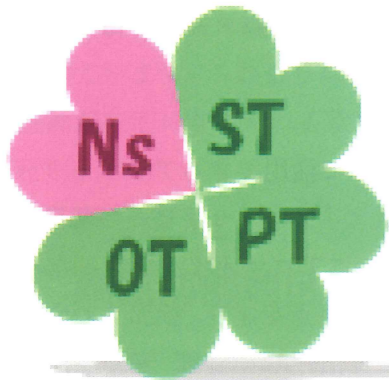
代表者：森末 裕稀 サービス提供区域 香取・海匝・鹿行地域（茨城県） 常勤看護師が 8 名 内男性看護師が 3 名おり、24 時間 365 日対応と精神・難病・終末期・人工呼吸器・各種ドレーンなど幅広いニーズに対応できるステーションが加入してくれました。同じ地域として心強く感じています。

最後に香取海匝地区部会の加入が17ステーションになりました。忙しくて所長会に参加できず、情報共有や交流ができないステーションもありますが、他のイベントや個々のステーションとのかかわりを通して交流を保ち香取海匝地区部会全体のステーションの経営、サービスの質の向上、訪問看護事業の健全な発展、地域住民の健康福祉向上に貢献できるように努めていきたいと思えます。

## 5. 印旛・山武地区・・・さんむ医療センター訪問看護ステーション 井上 純子

### 新規開設ステーション紹介「2事業所が加わりました」

#### ■訪問看護ステーションきずな



管理者 碩 琴恵 (せき ことえ)  
 地域 八千代市・佐倉市全域

利用者様に寄り添ったきめ細かいサービスを提供したいと始めました。  
 看護師のほか、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士おり、ターミナルケア、24時間対応、専門職によるリハビリテーションのサービスを提供しています。

#### ■だいそう訪問看護リハビリステーション 印西

管理者 西出 奈々恵  
 地域 印西市全域・印旛郡・船橋市小室町  
 ・白井市・八千代市  
 ・佐倉市(30分圏内)



「地域に根差した医療福祉、  
 地域に必要とされる医療福祉」

笑顔あふれる事業所です。利用者さん・ご家族に寄り添い、地域との連携を密に関わっています!! 看護師・療法士(言語聴覚士・理学療法士)で、活動しています。  
 よろしくお願ひ致します。

## 6. 夷隅・長生・市原地区・・・茂原市長生郡医師会訪問看護ステーション 古谷ゆり子

### 地区部会について

この地区部会は内房の市原地区、茂原・夷隅の外房地域が一体となった地区部会です。H29年までの10年間「訪問看護を使いこなそう」をテーマにケアマネジャーの方々と共に研修、交流会を開催してきました。そのおかげで顔の見える連携が行えていると思えます。今後も連携を深めるための交流を何ら

かの形で継続できたらと思えます。

また夷隅、長生地区に関しては医療機関が少なく医師が少ない地域です。また高齢化率も高い地域です。この地域での訪問看護の役割は計り知れないものがあり超高齢化社会をどのように乗り切るのか地域の方々と連携もますます重要になってくると思えます。所長会議は年3~4回開催しており出席率も良く時々食事会なども行い交流を深めています。

### 茂原市長生郡医師会訪問看護ステーションについて

#### 【理念】

1. 利用者様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域の医療機関と連携をはかり専門的知識を充分活用し24時間体制で訪問看護を提供します。
2. いつでも利用者様の立場にたち優しく暖かい看護を提供します。

- ・開設 平成10年10月
- ・スタッフ 常勤看護師 5名  
 非常勤看護師(准看含む) 6名  
 理学療法士 6名(1日1人~2人)
- ・利用者数 月平均130名前後  
 悪性腫瘍の方 医療依存度の高い方が多い  
 小児 精神疾患などの訪問も行っている
- ・訪問回数 月750回前後

皆で考えた左記理念のもと、暑い日も寒い日も雨の日も風の日も高齢化したスタッフでがんばっています。(笑)



笠森観音

## 7. 安房・君津地区・・・鋸南町訪問看護ステーション 上野由美子

### 安房・君津地区の紹介

安房・君津地区はチーバくんのおへそ〜足元までの辺りで、海と山に囲まれた自然豊かな地域です。

### 新加入訪問看護ステーション

平成最後の新ステーションとして3/1『松清医院訪問看護ステーション』『かもめ訪問看護ステーション』が入会されました。どちらも稼働したばかりで試行錯誤のようです。

また、館山市では、昨年12/1~『亀田訪問看護ステーション館山』が、地域における訪問看護サービスの拡充を図る為、『訪問看護ステーション おひさま』として名前も場所も新しくなりました。

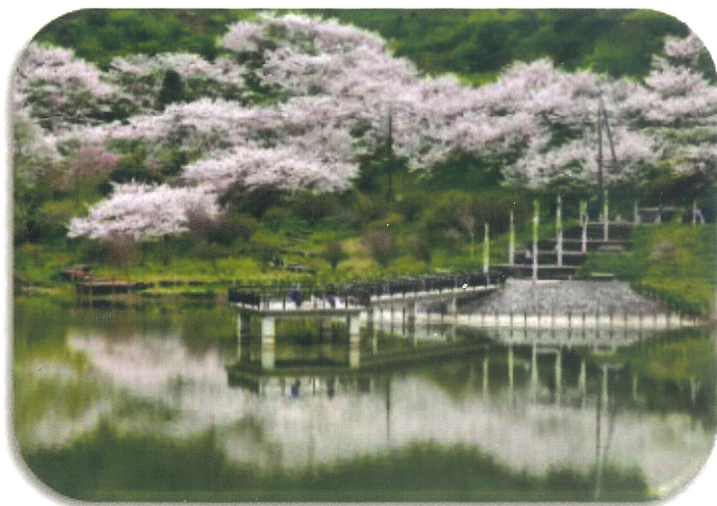
### 鋸南町イメージキャラクター



鴨川市の『訪問看護フローラ』は地域の方々へ訪問看護を提供していますが、『複合型サービス事業所フローラ』という一面もあり、〔訪問看護・介護〕〔通所〕〔泊まり〕…3つのサービスを組み合わせて利用できる看護小規模多機能型居宅介護事業所も行っております。

### 房総半島の自然

私たちは…雨ニモマケズ 風ニモマケズ、雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ。房総半島の季節を感じながら、日々かけ回っております。(写真は湖畔の桜と夕日です)。



### 編集後記

「菜の花 18号」はいかがでしたでしょうか。忙しい業務の合間を縫って、原稿にご協力いただいた皆様ありがとうございました。よく「訪問看護は孤独で大変だ」などと言われますが、原稿を読んでいると、千葉県内のあちこちで皆が訪問看護に奮闘して頑張っているんだな、私も頑張らなければ、と勇気が湧いてきました。この「菜の花」をお読みくださった皆様にも、訪問看護師の限りないパワーが伝わると嬉しく思います。

(広報部会 岡嶋・濱崎・山崎)